

区政会議保健福祉部会（平成30年2月8日）における主な意見

	主な意見	対応方針
1	いきいき百歳体操だけではなく、独自の体操でもいいのではないか？また、いきいき百歳体操を長く続けるには、他の事業等と合わせて行う等、工夫が必要ではないか？	いきいき百歳体操に特化することなく、住民主体の介護予防活動及び高齢者の憩いの場づくりの推進を、また、持続できるよう、各地域と相談しながら、鶴見区独自の方策により、重点的に取り組んでいきます。
2	「こどもの貧困」という言葉を、全面的に押し出すと、誤解が生じるのではないか？	「こどものサポート事業に取り組んでいく」といった主旨に、文面を調整します。
3	新たな将来像では、共に生きるが無くなっているのはなぜか？	ビジョン本文の内容としては、含まれているが、ご意見を受け次のとおり修正します。 「地域に住むすべての人が共に支え合い自分らしく健康に安心して暮らせ、子育てできるまちづくりの推進」
4	ビジョンは具体性が見えてこない。もうすこし突っ込んだ内容にしてほしい。またこれを見ていると、全て行政がしてくれてしまうようにみえてしまう。地域がしていく必要があることも示す必要がある。	具体的内容・取り組みについては、運営方針において示していきます。 ビジョン本文においては、地域が主体となって、連携を図ってともに進めていく内容となっています。また、地域福祉カルテの作成を今後進めることで、地域と認識を共有し、地域保健福祉を進めていきたい。

	主な意見	対応方針
5	<p>要援護者の見守りネットワーク強化事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と民生委員の連携に関して、個人情報の問題もあ りどのようにしていけばよいのか。 ・名簿が活用しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・区社協と区役所で、地域と民生委員の連携状況の聞き取りも 行っており、それぞれと連携を図りつつ、ともに検討してい きたい。 ・名簿に関しては、個人情報保護も大事で同意を得つつ進める のが基本だが、いただいた意見を踏まえ、共有できる情報は共 有できるように、活用方法についての改善に向けて検討して まいりたい。
6	<p>資料を見ていると、地域福祉コーディネーターが、いくつ も出てくるがこんなに多くのことができるのか？</p>	<p>見守りや相談に関しても、全てを地域福祉コーディネータ ーだけにしてもらうわけではなく、ふれあい員等関係者・関係 機関とともに、またコミュニティソーシャルワーカーなどと 連携して取り組むことや、関係先につないでいただくことを 考えている。重要なポジションの方と考えています。</p>
7	<p>新しいビジョンでは、新たな取組み・内容が増えている が、予算を含め実施できるのか不安もあるが、ぜひ取り組 んでもらいたい。</p>	<p>具体的取組みとして示しており、取り組んでいきたい。</p>
8	<p>町会に入らない住民も増えてきており、担い手確保にもつ ながりにくい状況が進んでいる。町会への加入を促進する ため、もっと広報が必要ではないか。</p>	<p>町会はもとより各種団体への加入を促進するため、区として も広報を充実させていきます。また、地域の広報活動も引き続 き支援し、加入促進につなげていきたい。</p>